

別記第5号様式(第8条関係)

令和元年度政務活動費収支報告書

令和2年3月31日

北広島市議会議長 野村幸宏様

会派名 公明党

代表者名 木村真千子



北広島市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定に基づき、下記のとおり令和元年度の政務活動費に係る収入及び支出について報告します。

記

1 収入 政務活動費 299,000 円

2 支出

| 使 途 基 準 項 目 | 金 額(円) | 内 容 |
|----------------------|---------|--|
| 研 究 研 修 費 | | |
| 調 査 旅 費 | 283,215 | 行政視察(8/22~23千葉県鎌ヶ谷市・奈良県田原本町、 2/5~7沖縄県名護市) |
| 資 料 作 成 費 | | |
| 資 料 購 入 費 | | |
| 広 報 費 | | |
| 広 聴 費 | 2,920 | 市内3団体との意見交換会会場費 |
| 要 請 及 び 陳 情 活 動 費 | | |
| 合 計 | 286,135 | |

3 残 額 12,865 円

注1 内容欄は、主たる内訳を記載すること。

2 支出の使途基準項目別、支払先別の調書を添付すること。

3 政務活動費を充てた経費に係る領収書(領収書を徴することが困難な場合は、経理責任者の支払証明書)の写しを添付すること。

会派名 公明党

使途基準項目別支払調書(調査旅費)

| 年 | 月 | 日 | 支出額 | 内容 |
|-----|----|----|---------|--|
| 元 | 8 | 13 | 67,980 | 行政視察8/22~23(千葉県鎌ヶ谷市、奈良県田原本町) 飛行機代 8/22HD14便 15,460×2 8/23ANA779便 18,530×2 |
| 元 | 8 | 13 | 28,220 | 行政視察8/22~23(千葉県鎌ヶ谷市、奈良県田原本町) 新幹線代 8/23のぞみ213号(品川→京都) 14,110×2 |
| 元 | 8 | 13 | 14,200 | 行政視察8/22~23(千葉県鎌ヶ谷市、奈良県田原本町) 宿泊代 8/22東横INN新鎌ヶ谷駅前 7,100×2 |
| 元 | 8 | 20 | 2,283 | 行政視察8/22~23(千葉県鎌ヶ谷市) 土産代 |
| 元 | 8 | 20 | 2,283 | 行政視察8/22~23(奈良県田原本町) 土産代 |
| 元 | 8 | 22 | 3,312 | 行政視察8/22(千葉県鎌ヶ谷市、奈良県田原本町) 交通費 ※経理責任者の支払い証明書 |
| 元 | 8 | 23 | 8,218 | 行政視察8/23(千葉県鎌ヶ谷市、奈良県田原本町) 交通費 ※経理責任者の支払い証明書 |
| 元 | 12 | 13 | 47,480 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護市) 飛行機代(木村分) 2/5ANA1693 2/7ANA1694 |
| 元 | 12 | 13 | 47,480 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護市) 飛行機代(藤田分) 2/5ANA1693 2/7ANA1694 |
| 2 | 2 | 3 | 2,359 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護市) 土産代 |
| 2 | 2 | 3 | 2,359 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護商工会) 土産代 |
| 2 | 2 | 5 | 14,100 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護市) 車両借上げ代 |
| 2 | 2 | 5 | 1,040 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護市) 高速通行料金(那覇→許田) |
| 2 | 2 | 5 | 1,180 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護市) 交通費 ※経理責任者の支払い明細書 |
| 2 | 2 | 7 | 1,000 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護市) 高速通行料金(許田→西原JCT) |
| 2 | 2 | 7 | 1,741 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護市) 車両燃料代 |
| 2 | 2 | 7 | 18,400 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護市) 宿泊代(木村分) 9,200×2日 |
| 2 | 2 | 7 | 18,400 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護市) 宿泊代(藤田分) 9,200×2日 |
| 2 | 2 | 7 | 1,180 | 行政視察2/5~7(沖縄県名護市) 交通費 ※経理責任者の支払い明細書 |
| 合 計 | | | 283,215 | |

会派名 公明党

使途基準項目別支払調書（広報費）

| 年 | 月 | 日 | 支出額 | 内容 |
|---|----|----|-------|------------------------|
| 元 | 10 | 8 | 1,320 | 北広島市自治連合会との意見交換会 会場費 |
| 元 | 11 | 9 | 1,200 | 北海道獣医師会北広島班との意見交換会 会場費 |
| 元 | 12 | 16 | 400 | 北広島市電業協会との意見交換会 会場費 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 合 | 計 | | 2,920 | |

会派公明党 視察研修報告書①

視察日程 令和 元年8月22日(木) ～ 8月23日(金)

調査地選定理由

① 千葉県鎌ヶ谷市

【選定理由】 {通年議会} を今年度から導入し、今までの取組みを参考にするため、視察しました。本市も通年議会を取り入れるべきかを判断するため。

② 奈良県田原本町

【選定理由】 市民の足を確保するために、「タワラモトンタクシー」の仕組みを調査し、本市の高齢者の足の確保の施策の参考に視察しました。

<行程表>

| 年 月 日 | 行 程 |
|-------|---|
| 8月22日 | ANA HD14便 新千歳—羽田 JR 羽田—鎌ヶ谷 千葉県鎌ヶ谷市役所 14時視察テーマ「通年議会について」 ホテル 東横INN新鎌ヶ谷駅前 |
| 8月23日 | JR 鎌ヶ谷—品川(新幹線)—京都—田原本 奈良県田原本町 14時視察テーマ「タワラモトンタクシー」 JR 田原本—奈良 バス 奈良—伊丹空港 ANA779便 伊丹—新千歳 |
| | |

<視察者>

木村真千子議員、 藤田 豊議員

公明党視察報告者 藤田 豊

視察対応者 鎌ヶ谷市議会議員 泉川ようじ

「通年議会」に関する説明

1. 通年議会とは会期を1年とし、その間は、議会の判断において必要に応じて会議を開けるようにする制度である。

2. 通年議会を実現する方法について

(1) 従来の「定例会」の運用に工夫を加えて実現する方法

21市で導入（鎌ヶ谷市もこの方法）

定例会は、限られた期間（会期）で、議案を集中的、効率的に審議するための制度。

○通年議会は、定例会の運用に工夫を加えることでも実現。

○1年間に召集する定例会の回数は、各自治体が定める。

○「通年議会」は、定例会の回数を年1回とし、会期を約1年とする運用で実現可能である。

○1年間は、長の招集によらずとも、議会の判断で開くことが可能となる。

(2) 新たな「通年の会期」を採用する方法（平成24年の地方自治法改正で創設）8市で導入

○「通年の会期」とは、定例会、臨時会の区分を設けず、条例で定める日から翌年の当該日の前日までの1年を会期とする制度。

○次の事項を条例で定める必要がある

会期の始期

定例日（定期的に会議を開く日。定例日以外にも、随時開催は可能）

○長の招集は、実質的に4年に1回（改選時）。2年目からは、みなし招集となる。

○4年間は、長の招集によらずとも、議会の判断で会議を開くことが可能となる。

主な質疑のやり取り

問 議長権限が強化されるとは、具体的にどのようなものか。

答 議案の提出に合わせて、議長の権限で議会を招集することができるようになった。議会主導の判断が可能となった。

問 地域での議員活動の時間が減少するおそれあるとのことだが、実態は。

答 常に議会が招集されるわけではないので、大きな負担になっている状態ではない。

問 執行部の行政能率への影響といった懸念があるとのことだが、どのような内容か

答 議会事務局においては、通年議会を導入にあたり、条例の改正が伴うために、その作業の多くの時間が取られた。通年議会になると、議会事務局に今までとは違う忙しさが加わり、現在の職員数では職員の時間外勤務は増えると思われる。

視察の所感

本州の各議会で、「通年議会」を導入する自治体が増えている。鎌ヶ谷市の議長の感想としては、議員活動は年4回の定例会だけで、それ以外は自由な時間との認識があったが、通年議会の導入により、1年間を通して議員活動をするという意識と緊張感が生まれたことは、大きな効果があったと思うとの話がありました。本市でも「通年議会」を検討する価値があると実感しました。

「タワラモトンタクシー」

公明党視察報告者 藤田 豊

視察対応者 奈良県田原本町町長公室総合政策課課長 西浦至広

事業内容の説明

奈良県田原本町は2018年度、移動に困難を伴う人の外出を支援するため、民間タクシーの初乗り運賃を補助する「タワラモトンタクシー」事業を開始し、大きく成果を上げています。従来のデマンドタクシー事業と比べ、1カ月の平均利用回数は5倍に増加。予約の競合が少なく、近所同士で自主的に乗り合うケースもあります。

田原本町は2010年から、買い物や通院などの移動に困難を伴う人を支援

するため、乗り合いのデマンドタクシーを運行してきました。登録者は2000人を超え、1日の平均利用者は24人（2017年度）だった一方で、年に一度も利用しない登録者が全体の8割を占め、利用者の偏りがみられました。

原因は利便性が良くないこと。町が行った登録者へのアンケートなどでも、3時間前までに予約が必要な点や、最大2台と少ない運行台数、停留所までの移動負担に対し改善を求める声が目立った。利用していた住民は「午前中の早い時間に利用したい場合、前日に予約しなければならなかった」との感想が多くありました。

昨年7月にデマンドタクシーに替えて開始した「タワラモトンタクシー」事業は、町内の民間タクシー会社4社で使えるチケットを町が独自に発行し、タクシーの初乗り運賃680円を助成する仕組みです。70歳以上の高齢者や妊婦、未就学児に年間24枚、身体障がい者らに年間12枚のチケットを配布します。利用時間は午前8時から午後6時（月曜日から土曜日）で、複数での乗り合いや、発着のいずれかが町外の場合も補助対象になる。事業名は同町公式キャラクターのミニブタの名前からとりました。

田原本町によると、事業開始直後にデマンドタクシーの登録者数を上回り、昨年度はそのうち6割超が実際に乗車。月平均の利用回数はデマンドタクシーの5倍で推移し、成果を上げた背景には、町内を巡回するバス路線がないことや、鉄道駅のある中心部から半径約3キロに収まる“コンパクトな町”の特色が生かされたことも大きい都の説明でした。

視察後の感想

北広島市は、現在、団地地区と東部地区の中央バスを利用できる70歳以上の住民を対象に、年間2,000円のバス利用券を発行しているが、この地域以外の人には、恩恵が無く各地域より、同様のサービスの提供を求める声が多く出ている。この期待に応えるには、「タワラモトンタクシー」の施策は、本市でも実施可能と考えられる。ただし、田原本町と条件が違うのが、市内に2社の路線バスが運行していることあることから、田原本町と同じやり方ができるとは限らないが、大いに参考となる施策であると思いました。

会派公明党 視察研修報告書②

日程 令和2年2月5日（水）から2月7日（金）

調査地選定理由

沖縄県名護市は、北海道日本ハムファイターズのキャンプ地になっており、名護市市政50周年に合わせて完成した、名護市営球場「愛称タピックススタジアム名護」の施設見学。北広島市に3年後に新球場が完成することから、「新球場整備・経過について」の調査と名護市と北海道日本ハムファイターズとのかかわりについて意見交換。また、名護商工会も訪問して、商工会と日ハムとの交流の状況を調査目的として選定しました。

<行程表>

| 年 月 日 | 行 程 |
|---------------------|---|
| 令和2年 2月5日 (水) | 北広島市9:07分→新千歳空港10:30分ANA1693便 →那覇空港14:30分→ホテル17:30分着(グリーンリッチホテル沖縄名護) |
| 2月6日 (木) | 名護市役所・名護市営球場視察9時→名護商工会13:30分 →ホテル17時(グリーンリッチホテル沖縄名護) |
| 2月7日 (金) | ホテル9時→那覇空港13:35分ANA1694便 →新千歳空港17:10分→北広島駅18時 |

<視察者>

木村真千子議員 藤田 豊議員

公明党の視察内容 視察報告者 藤田 豊

視察対応者 名護市建設部都市計画課技幹 桃原泰明

沖縄県でプロ野球チームとして、初めてキャンプを行ったのがファイターズでその時から名護市営球場を利用してきたが、球場の老朽化が激しくファイタ

ーズより、球場の改修の要請が出ていた。名護市は歴代の市長が替わる中、財政状況も検討した結果、改修ではなく新たな建て替えを決定し、ファイターズの要望に応える施設内容の球場を完成させました。

施設内容は、総事業費約45,6億円をかけ、最新鋭の設備の球場に生まれ変わりました。国の補助事業メニューとして、「社会資本整備総合交付金」(補助率50%)を活用して整備しました。

この球場は名護市営球場であることから、設計コンセプトとして「人と自然が調和し、スポーツを親しむ和みのスタジアム」をコンセプトとして3つの目指すべき球場像を設定し、名護市の新たな核となるスポーツ施設として整備を行いました。①21世紀公園内にある施設として景観に溶け込んだシンボリックな「みどりの中の球場」②スポーツによる地域の活性化を目指すと共に、市民から親しまれる「交流する球場」③球場に練習場等を設け、幅広い年代が交流し、刺激を受けて夢を育む「育てる球場」を掲げて整備しました。

この球場がファイターズのキャンプ地であるという市民にとっての誇りと、キャンプ期間中全国から訪れるファイターズファンによって、全国から注目されるのがまちの活性化にもつながっていることを感じました。

また、市営球場の維持費の捻出のために新球場完成に合わせて「ネーミングライツ」を募集したところ、年額15,550,000円で5年間の契約が決まり、施設の管理運営に役立てていくことになっています。

次に、名護商工会を訪問し金城哲成会長と経済界とファイターズのつながりについて意見交換をしました。金城会長の話では、キャンプ期間には全国からファンが来られ、市内のホテルは満員状態になることや、キャンプ最終日に選手と市民の交流の場が毎年あることなど、ファイターズと共にまちが活性化していることをお聞きしました。

課題として、ホテルは満員になるが市内の商店や飲食店に全国から訪れたファンは、あまり訪れないのが現在の課題との話がありました。今後とも、名護市はファイターズを大事にして、2軍球場のある千葉県鎌ヶ谷市と1軍球場ができる北広島市と交流を深めることを、商工会として考えたいですねとのお話もありました。

今後、北広島市もファイターズつながりで、沖縄県名護市と千葉県鎌ヶ谷市とあらゆる交流の可能性を検討し、交流人口の拡大に向けて政策提案をしていきたいと思えます。

